

令和7年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価（3月31日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲の向上や進路希望の実現のために教育課程の見直しや組織的な授業改善に取り組む。  ②ICTの利活用を促進することにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。	①教育課程が、生徒の実態とニーズに合っているか、進路希望の実現に対応しているか検証する。  ② I C T利活用授業研究推進校として、組織的な授業改善と効果的な ICT の利用方法を模索する。	①教育課程が生徒の実態とニーズに合っているかを検証し、必要があれば見直しをおこなっていく。  ②ICT の特性を生かし、生徒による授業評価の「学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」の項目の学校平均値3.2を目指す。	①生徒が日々の授業に知的好奇心を持って取り組んだか。また学習が主体的・対話的で深い学びとなったか。アンケート等を用いて確認する。  ②生徒による授業評価の「学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」の学校平均値3.2を達成できたか。					
2	生徒指導・支援	①高い人権意識と幅広い視野を持った生徒を育成するため、教育活動の中に自己肯定感を育む機会を多く取り入れ、生徒の自主性や積極性を高めるとともに、他者との協働による成長を支援する。  ②教育相談システムの活用を促進し、心の健康と安心・安全な学校生活を実現するとともに生徒の自己解決力の育成を支援する。	①学校行事や生徒会活動に参加する中で、生徒同士が自己や他者を認め、協力しながら目標を達成していく力を育成する。  ②より誰にでも相談しやすい環境を整えたり、生徒教員向け各種研修会を行うことで、生徒自身が自身の問題に対し解決するために行動できる力を育成する。	①生徒が主体となって行事運営ができるよう、委員会活動を充実させ、生徒間での話し合いが積極的になされるようサポートする。  ①生徒向け研修会および教員向け研修会を行い、それぞれが対応する力を身に着ける機会を設ける。  ②面談期間を有効活用し、生徒の悩み等の早期発見を行う。場合によっては、SC 等と連携する。	①学校行事や部活動において生徒が主体的に参加することができたか。LHRと委員会間の意見交換ができ、効果的に話し合いがもたれたか。アンケート等を用いて確認する。  ①生徒の実態に合わせた研修会を行うことができたか。  ②SC等を活用し、生徒が抱える問題の解決につなげることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価（3月31日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①社会情勢の変化に応じて多様化する進路について外部機関と連携し、進路情報を収集・評価・提供し、生徒の進路実現につなげる。  ②3年間を見通したキャリア教育となるよう、各年次、各時期に行うべきキャリア教育を精査し、幅広い知識と判断力を育成し、自己のキャリア形成を支援する。	①受験科目の変更を調査するとともに、大学などと連携をし迅速に科目変更などの情報をとりいれ、外部機関からも情報を収集する。また、企業研究・地元探求などを通して、社会情勢を学ぶ機会を設定する。  ②キャリア教育計画を視覚的に明確なものとし、共有する。	①総合的な探究の時間での取り組み、外部機関の提供情報などを精査し、教職員で共有するとともに生徒に必要な情報を周知する。  ②キャリア教育計画を表や図で表し、周知する。	①生徒が進路活動において、受験科目を把握することができたか。また、企業研究・地元探究などを実施し、発表することができたか。  ②キャリア教育計画を表や図で表し、周知することができたか。					
4	地域等との協働	①保護者や地域から信頼される学校運営のため、地域に参加し貢献する機会を増やす。  ②学校運営協議会を活用し、教育内容の充実を図るとともに、広報活動を充実させ、学校外への発信や教育活動の共有を推進する。	①地域貢献活動以外にも、地域と交流する機会を作り、地域との信頼関係を築くとともに社会性を養う。  ②生徒中心の学校説明会の充実とHPの内容の充実を図る。	①生徒会・委員会・部活動に所属する生徒等と地域との交流について考える場を作り、清掃活動以外の交流を行う。  ②生徒中心の学校説明会を充実するとともにさまざまな機会を通じて本校の魅力を発信する。	①清掃活動以外にも地域に貢献する活動や地域と交流する活動ができ、その活動を通して地域との信頼関係を作り、社会性を育むことができたか。  ②生徒主体の学校説明会ができたか。また、一般入試の志願倍率が1.1倍(志願変更前)を超えたか。					
5	学校管理 学校運営	①教育公務員としての綱紀の保持や意識向上を図り、事故・不祥事の防止を徹底する。ICTを用いて組織的なチェック体制を整える。  ②避難所に指定されている意識を持ち、地域と協力して防災活動を行い、有事の際は、避難所としての機能を果たすため、生徒の防災意識の向上を図る。	①事故・不祥事の未然防止のため、ICTを活用したアンケートを実施し、多くの職員の回答率、正答率を高める。  ②災害発生時にスムーズな対応や行動がとれるように地域と連携して、広域避難所としての防災意識を高める。	①ICTを活用したアンケートを実施し、職員が回答するように学年会などで呼びかける。また、正答率を上げるよう、管理職と協力し事故不祥事防止の徹底に努める。  ②地域との避難訓練運営会議などの内容を、ICTを活用し、教員間で共有を徹底する。地域の防災課題を踏まえ、万が一の有事の際に一人ひとりが行うべきことを自覚する。	①事故不祥事アンケートの回答率が毎回80%を超えることができたか。また、正答率が昨年度を上回ったか。  ②避難所訓練会議での内容を踏まえ、本校が有事の際に行うべきことや備えにおける教員に対する研修や生徒に対する教育を行うことができたか。					